

美山木匠塾

2013年度活動報告書

2014年4月11日

【目的】

国土の7割を森林が占めている日本では、木を生活に活かし、森と折り合いをつけながら木製品が生産され、活用されていた技術が残っています。しかし、それらは衰退の一途をたどっています。木を活かす物づくりには、それが物になるまでの過程を知る事が大切です。日本の林業地がどのように木材を生産し、切り出された原木がどのように木材として流通するのか、それを意識してこそ、木材の活かし方を学ぶことができます。

美山木匠塾は、京都府南丹市美山町を活動の中心と位置づけ、建築や環境を専攻して学ぶ学生が主体となり、現地の森林資源を活かした製作物を企画提案し、それら企画物が他地域との交流や地域おこしに繋がっていくよう製作・実行してゆく事で、学生が集団活動や地域コミュニティのあり方、現実の製作活動などについて学ぶ事を目的としています。

【体制・任意団体】

1) 事務局

事務局長・塾長：羽原康成

(ah 主催・京都府立大学非常勤アドバイザー・2014 年度より摂南大学非常勤講師)

2) 京都府立大学・環境共生教育演習Ⅰ（7月～9月）

教員：松原 斎樹（教授）

木匠塾生：0 名 ※2013 年は開催しませんでした。

3) 美山木匠塾・有志活動（通年）

学生幹事：小仲美穂（京都府立大学3年生）

京都府立大学環境デザイン学科・森林科学科の学生

摂南大学理工学部建築学科の学生

サポーター：川上村地域おこし協力隊

4) 協賛企業

ah

株式会社パワープレイス

株式会社吉野中央木材

大阪塗料工業株式会社

丸善ボタン株式会社

【活動方針・方向性】

- ・地域に根づく活動となるよう、5年を超えるロングターム、2～3年で実現するミドルターム、毎年定期的に製作するショートタームと3種類の活動を企画し、学生が明確な目標をもって、地域との交流を深めながら製作活動をおこなう環境作りをおこないます。
- ・京都府南丹市美山町だけでなく、他地域の林業地などとの交流を深め、塾生が多角的な視点によって、美山での活動を認識できる環境作りをおこないます。
- ・川上地域だけでなく、木材消費がおこなわれる川下地域とも交流を深めるため、川下企業の見学会を不定期におこないます。
- ・デザインの公益性を重視し、製作図等公開の要望があった場合は、作品の製作図等を公開します。※著作権・意匠権を放棄するものではありません。

■ 美山木匠塾・活動報告

【活動概要】

2013年度は、前事務局長・戸田都生男に代わり、羽原康成が6月より事務局長兼塾長となり活動を行いました。美山木匠塾は昨年度まで、京都府南丹市美山町においてサマースクールによる製作活動のみでしたが、体制の変化に合わせ、他地域においても有志の塾生により積極的な製作活動・地域交流をおこなうなど、活動方針を新たにしました。

1) 京都府立大学 環境共生教育演習Ⅰ「美山木匠塾」

本年度は体制の変化もあり、環境共生教育演習Ⅰ「美山木匠塾」は開催しませんでした。

2) 有志活動

① 活動名称：川下企業の見学会

実施体制：羽原康成、美山木匠塾有志

実施期間：2013年12月16日、26日

実施場所：株式会社日建スペースデザイン（大阪）

株式会社内田洋行（大阪）、パワープレイス株式会社（大阪）

活動目的：

美山木匠塾では、美山の山と木について学び、木製構築物等をデザイン・製作しますが、あくまで川上と呼ばれる地域に限った内容でした。そのため、川下と呼ばれる設計事務所や工務店などを見学により、川上から川下にかけていかに木材が消費・活用されていくのかを実感する機会を作りたいと考えています。スペースデザインにおいては日本でも有数の株式会社日建スペースデザイン、木製ユニットスペースにおいて先進性をもっての開発に取り組む内田洋行株式会社と、そのインテリアを担うパワープレイス株式会社の見学を通して、実際の設計現場ではどういう流れで空間がデザインされていくのか、その中でこういった割合で木が使われていくのか等を、学生が実感する機会として見学会を開催しました。

12月16日、26日

※株式会社内田洋行



※パワープレイス株式会社



- ・株式会社内田洋行
- ・パワープレイス株式会社

参加者：

京都府立大学

人間環境学部環境デザイン学科
(3回生4名、2回生2名)

摂南大学

理工学部建築学科
(4年生1名)

〈実施成果〉

内田洋行は、製図板やマジックインキで馴染み深いですが、教材関連ではトップシェアの企業です。パワープレイスは内田洋行から分社化した空間デザイン事務所で、空間演出ユニットもソフト・ハード共にグループ会社の協力で開発できることから、空間デザインとして扱える領域が幅広く、柔軟性に富んだ企画提案がおこないやすい環境づくりを学びました。

12月26日

※株式会社日建スペースデザイン



・株式会社日建スペースデザイン

参加者：

京都府立大学

人間環境学部環境デザイン学科
(3年生3名、2年生2名)

〈実施成果〉

日建スペースデザインは、もともと日建設計のインテリア部門が分社化した、国内有数の空間デザイン事務所です。チーフデザイナーの米澤研二さんに、仕事の進め方や、デザインに対する考え方をお話頂きながら、多くの作品を見せて頂く機会に恵まれました。

② 活動名称：ミニモク（わんぱく公園将来構想とショートタームの実施）

実施体制：羽原康成、美山木匠塾有志（学生幹事：小仲美穂）

実施期間：2014年1月8日～3月31日

実施場所：京都府南丹市美山町ちびっこ広場

活動目的：

木匠塾の活動は、サマースクールをメインとして、京都・美山町と京都府立大学を軸とした一年を通した活動ですが、美山木匠塾を気軽に体験できる「ミニモク」を開催します。ミニモクでは、昨年度の美山木匠塾による計画を基として、南丹市美山支所より要望されている、公園に置かれる子供達のための小規模な木製遊具を企画・設計・制作します。

≫ ミニモク・実施内容 ‹‹



1月18日 現地ヒアリング

京都府南丹市美山町ちびっこ広場

出席者：

産業建設課大森課長、中島主査、大野地区長、副区長
羽原康成、京都府立大学 環境デザイン学科（3年生1名、
1年生2名）

〈実施成果〉

計画地を実際に見たうえで、ヒアリングを行いました。地域の人がある場所に込めた思い、実際のターゲットについてなど、重要な話を聞く事ができました。



2月11日 現地プレゼン

京都府南丹市美山町ちびっこ広場

出席者：

産業建設課中島主査、大野地区長、副区長、羽原康成、
京都府立大学 環境デザイン学科(3年生1名、1年生2名)

〈実施成果〉

現地ヒアリングの内容を踏まえ、前年度の計画はターゲットを見誤っていると考え、大野地区わんぱく公園将来構想を再企画し、現地にてプレゼンを行いました。

※プレゼン資料は報告書最後に添付



3月6日、7日 デッキ製作

京都府立大学 木工室

出席者：羽原康成

京都府立大学 環境デザイン学科(3年生1名、1年生1名)

京都府立大学 森林科学科(3年生1名)

京都府立大学院生(2名)

摂南大学 理工学部建築学科(4年生2名)

※塗装レクチャー：大阪塗料工業株式会社・長谷社長



〈実施成果〉

6日午前は、大阪塗料工業・長谷社長より、木材塗装に関するレクチャーを受け、その後、設計した製作図に合わせ、木材を加工、組立していきました。

実際の予定スケジュールをオーバーする状況であったため、最終デザインを多少簡素化し、作業を完了させました。実際の予定と、実施スケジュールをいかに調整するか、実働する事でそのギャップを意識する事ができました。



3月6日、7日 デッキ塗装

京都府立大学 木工室

出席者：羽原康成

京都府立大学 環境デザイン学科(3年生1名、1年生1名)

〈実施成果〉

デッキをサンドペーパー#400により軽く研磨し、自然塗料2度目の塗装を行いました。



3月31日 現地設置

京都府南丹市美山町ちびっこ広場

出席者：

産業建設課大森課長、中島主査、大野地区長、
羽原康成、

京都府立大学 環境デザイン学科（3年生1名）

京都府立大学 森林科学科（3年生1名）

〈実施成果〉

本年度ミニモク製作物のデッキを設置しました。毎年このデッキを製作・メンテナンスしてゆく事で、この広場が、屋外木育広場として人が集まる場所になればと、期待しています。

③ 活動名称：吉野貯木まちあるき＋スギダラケ倶楽部全国大会・ヤタイ製作

実施体制：羽原康成、美山木匠塾有志（学生幹事：小仲美穂）

実施期間：2014年3月8日～3月29日

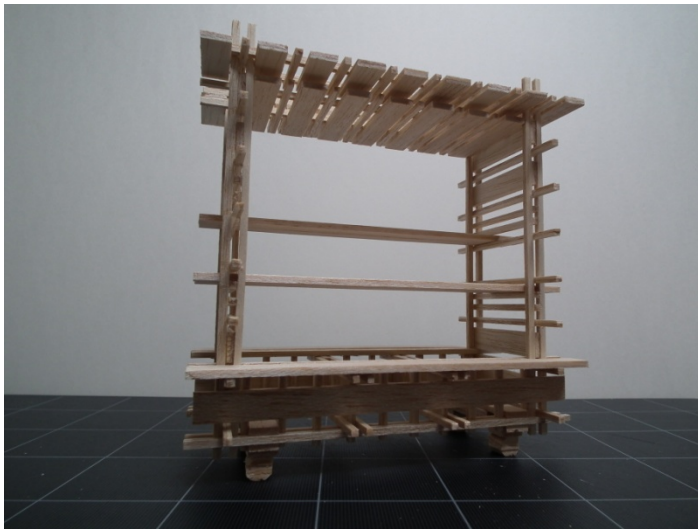
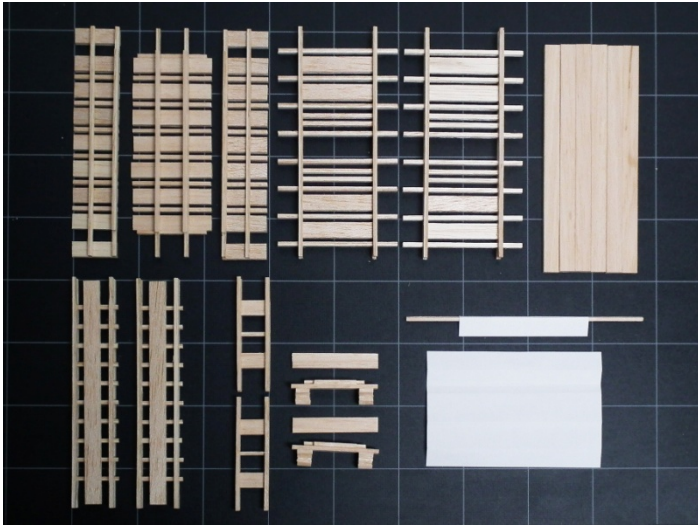
実施場所：奈良県吉野郡吉野町（吉野町木材団地）

活動目的：

日本全国スギダラケ倶楽部は、戦後の植林によって杉だらけになってしまった日本の山林をやっかいもの扱いせず、材木としての杉の魅力をきちんと評価し、産地や加工者、流通、デザイン、販売など杉を取り囲むシステムを結びつけることで、杉をもっと積極的に使っていいんじゃないか！という運動です。その全国大会が、吉野杉・吉野桧で有名な 奈良県・吉野町において、吉野貯木まちあるきイベントに合わせて開催される事になりました。

美山木匠塾は、京都府南丹市美山町を軸とした活動をおこなっていますが、全国の木材関係者・建築家・デザイナーが集まるイベントにおいて、京都府南丹市美山町と、美山木匠塾を知ってもらう公益性の高い活動と位置づけ、ヤタイを企画・設計・製作する事としました。

ヤタイは分解が可能で、軽トラで運搬し、様々な地域において、人が集まる場を作り出す事ができます。吉野町で製作したヤタイを美山で組立て、地域間交流を行う事も可能になるかもしれません。そんな夢を持って、美山木匠塾は、吉野でのヤタイ製作に取り組みました。



3月8日～24日 ヤタイの企画・設計・模型製作

「ハシゴしよう！」

3月28日、吉野で製作するヤタイは、ハシゴ酒という言葉があるように、お店ならぬ地域や場所を変えながらコミュニティを形作るヤタイであって欲しいと考え、ハシゴを基にデザインしました。

木匠塾 OB と協働により、ヤタイのデザインを決定。
製作図・材料表・模型を作成しました。

※製作図は資料最後に添付



3月28日 ヤタイの製作

奈良県吉野郡吉野町・株式会社吉野中央木材

出席者：羽原康成、

京都府立大学 環境デザイン学科（3年生1名）

摂南大学 理工学部建築学科（4年生2名）

サポーター：川上村地域おこし協力隊 村上氏



製作図を基に、部材を切り出し、組立を行いました。
切断作業は順調に進んだものの、組立作業は予定をオーバー。実際のものづくりにかかる時間と、予定のギャップはミニモク程ではなかったものの、製作時間の管理の難しさを再確認するものでした。



3月29日 ヤタイの製作・ヤタイのイベント活用

奈良県吉野郡吉野町

吉野貯木まちあるきイベント広場

参加者：羽原康成

京都府立大学環境デザイン学科(3年生1名、1年生1名)

京都府立大学森林科学科(3年生1名)

摂南大学 理工学部建築学科(4年生2名)

サポーター：川上村地域おこし協力隊 村上氏

〈実施成果〉

完成したヤタイ「ハシゴしよう!」を、販売ブースとして活用。簡易ヤタイとして高い評価を頂いた。

4月8日 ヤタイ製作図・材料表の公開

Facebook 美山木匠塾ページ

吉野貯木まちあるきイベントにおいて、川上村地域おこし協力隊より、「是非自前で製作したいので、図面を貰えないか」と問い合わせがありました。公益性もあるため、一般の方でもヤタイ作りにチャレンジできるよう、吉野で製作した「ハシゴしよう!」の製作図・材料表などを一般公開しました。

≫ヤタイ製作からの将来の展望

ヤタイはコミュニティの場を生み出す一つの装置です。京都府南丹市美山町大野地区におけるミドルタームにあるように、美山町においてもヤタイ製作ができればと考えています。製作するヤタイを増やし、地域のイベントを行う際に、それらを一堂に集める事で、にぎわいの場を盛り上げる一役を担えればと考えています。

④ 活動名称：協賛企業への表敬訪問

実施体制：羽原康成、小仲美穂（京都府立大・学生幹事）、ほか京都府立大3名

実施期間：2014年2月1日、2月21日

実施場所：株式会社吉野中央木材（奈良）、丸善ボタン株式会社（大阪）、大阪塗料工業株式会社（大阪）

活動目的：

活動に対し、物品支給を行って頂ける企業に、学生と共に表敬訪問を行いました。

※株式会社吉野中央木材（2014.2.1）



※丸善ボタン株式会社（2014.2.21）



※大阪塗料工業株式会社（2014.2.21）



【成果と課題】

美山木匠塾は有志活動としての認知度はまだまだ低く、学生の参加数が当初予定よりも少ない状況でした。美山木匠塾の認知度を上げるべく、今後も地域を盛り上げ、若者が興味を持てる活動となるよう、積極的に創作活動や地域交流活動をおこなっていきます。

2013年度の美山木匠塾の成果は、ミニモク、吉野貯木まちあるきイベント・ヤタイ製作において、いずれもデザイン性・機能性の高い成果物を、ロングスパンの活用も含めた案として提示し、学生主体の活動として実現できた事です。実際の製作においても、効率のよい作業方法を模索しながら協働し、集中して木と向き合う体験は、学生が机上だけでは得られない経験を得ることができました。反面、製作スケジュール、実行時間と計画案にギャップが多少なりともあった事は否めず、作業予定時間をオーバーする結果となった事は反省すべき点として、2014年度において改善してゆきたいと思います。

以上

2014.4.12

文責 羽原康成

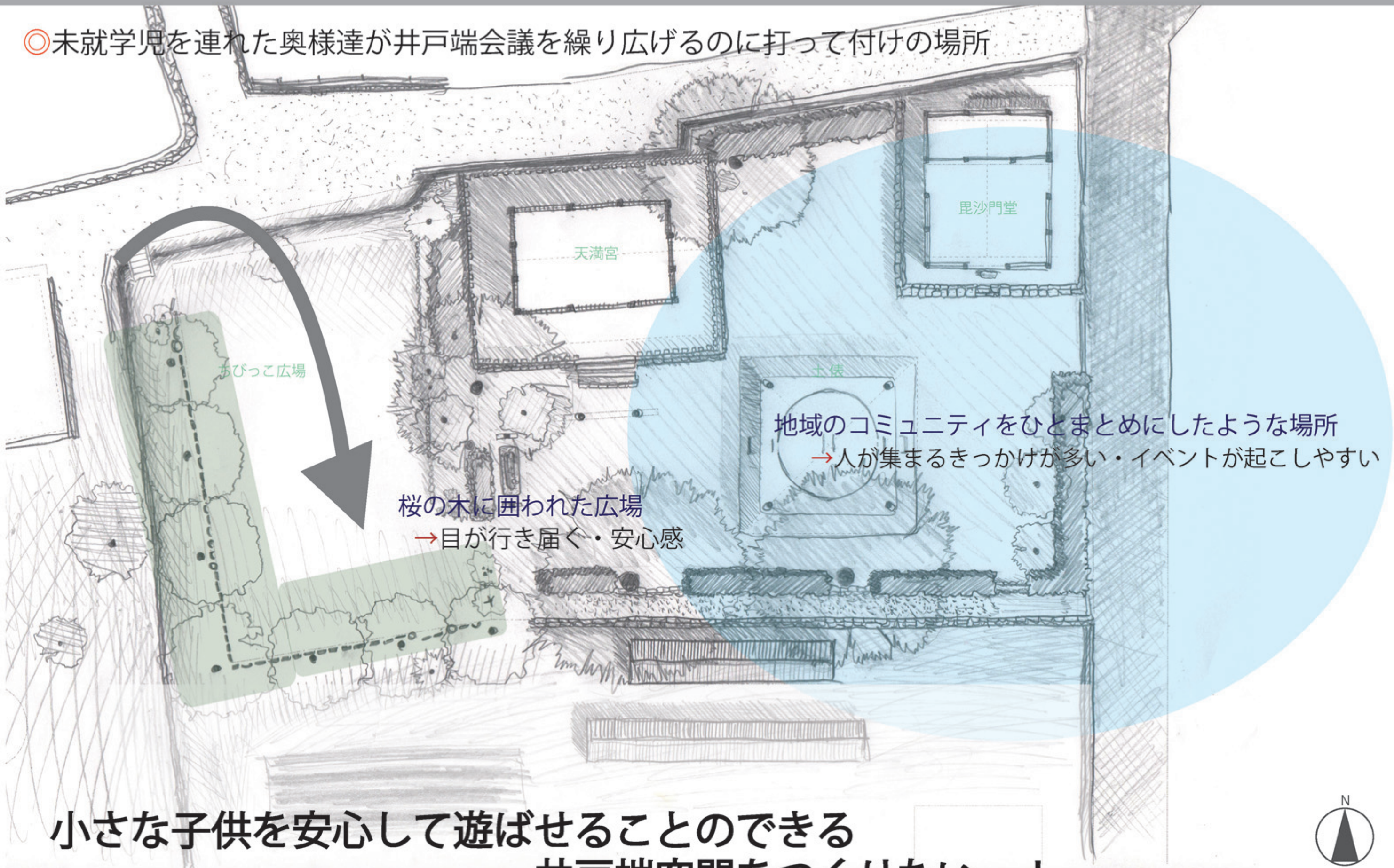


「ちびっこ広場」遊び場提案



平成26年2月8日
美山木匠塾

◎未就学児を連れた奥様達が井戸端会議を繰り広げるのに打って付けの場所



小さな子供を安心して遊ばせることのできる
井戸端空間をつくりたい…！



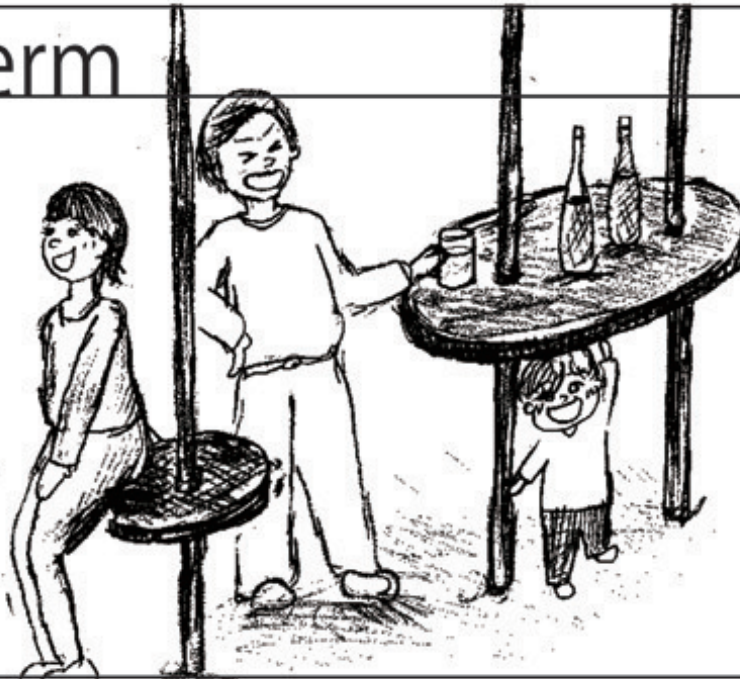
short term

積み木デッキ



middle term

「ヤタイで
集いタイ」



long term

やぐらモン



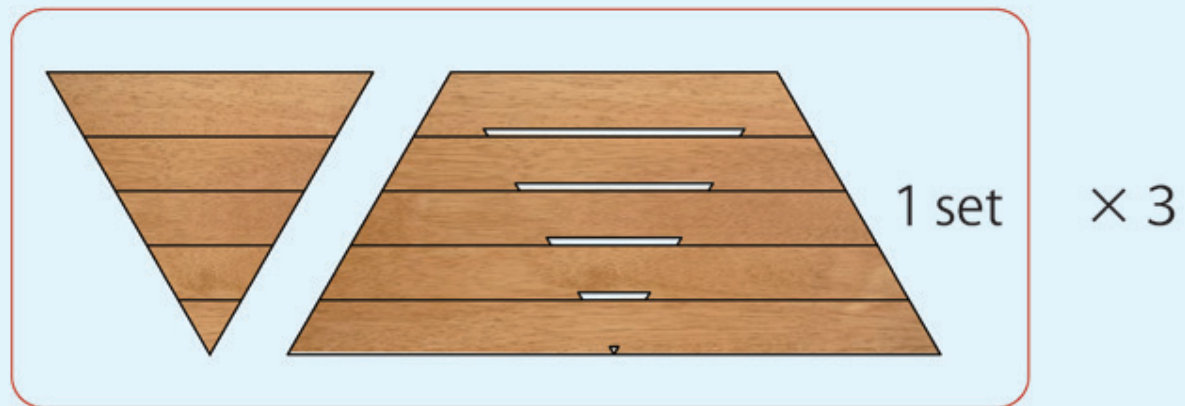
イメージ図



▼.image

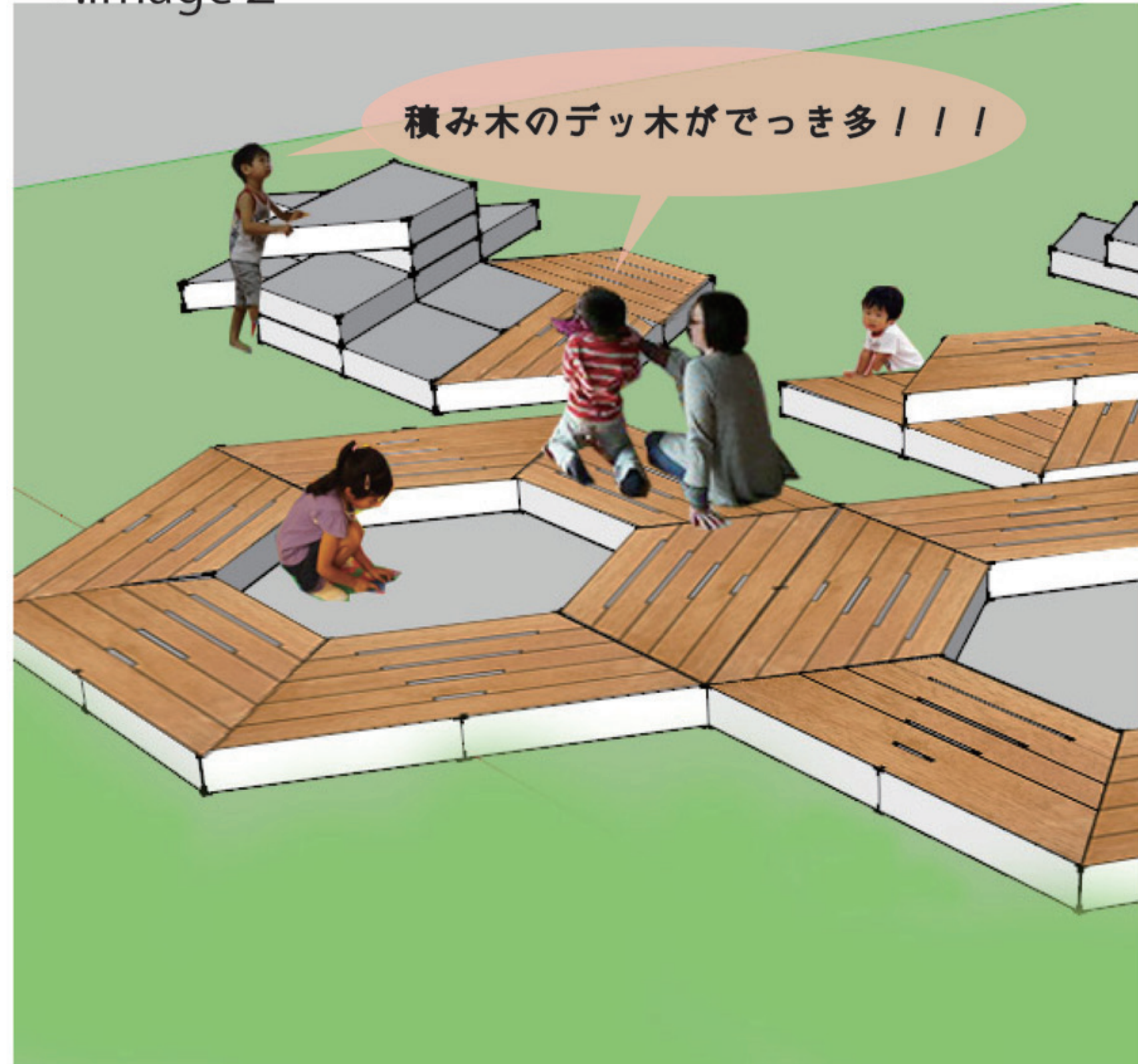


▼「ミニモク」での提案



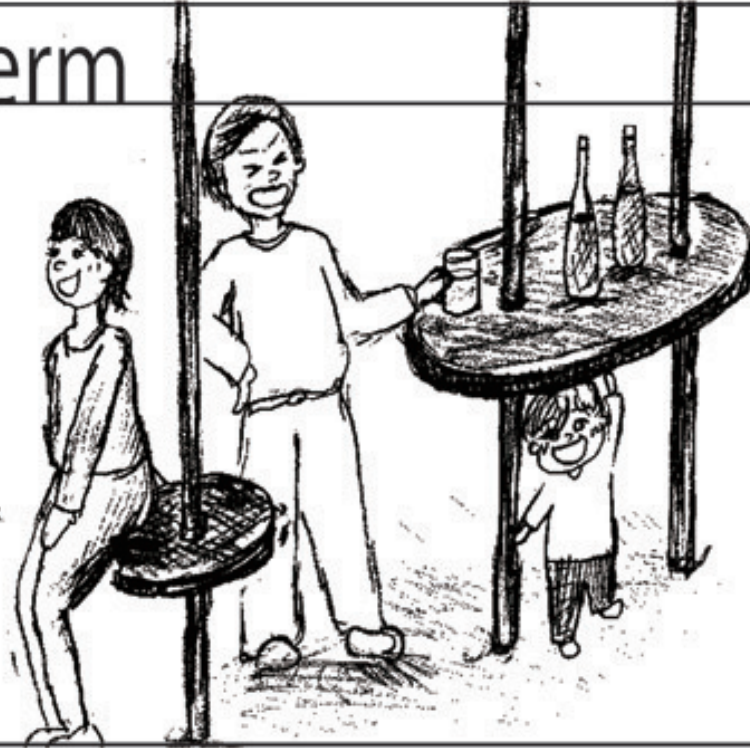
昨年のベンチに引き続き、台形のデッキを作成する
 去年と異なる点としては、積み木のようにカタチに変形することができる
 また、昨年のベンチも組み合わせて使うことができる

▼.image 2



middle term

「ヤタイで
集いタイ」



image

簡易屋根付きの屋台を制作する
物を置くことができるテーブル・椅子が散らばっているイメージ



壁が立ち上がったヤタイ...



簡易屋台

long term

やぐらモン



image

枝付き丸太を使ったやぐら
イベントを行うときは布を張ると屋根ができる

→休憩所・子供たちのアスレチックとして機能



布を張ったとき



枝つき磨き丸太

美山木匠塾2013 「ハシゴしよう！」
製作図



ハシゴしよう！（ヤタイ）材料表

部位名称	記号	30×30×L	30×120×L	数量
Y1	Y1-1	1820		2
	Y1-2	1440		2
	Y1-3	600		6
	Y1-4	530		2
	Y1-5		600	7
Y2	Y2-1	1820		2
	Y2-2	1440		1
	Y2-3	340		6
	Y2-4		340	9
Y3	Y3-1	1820		2
	Y3-2	1440		1
	Y3-3	340		6
	Y3-4		340	9
H1	H1-1	1820		4
	H1-2	920		8
	H1-3	600		4
	H1-4		600	4
H2	H2-1	1820		4
	H2-2	920		8
	H2-3	600		4
	H2-4		600	4
D1	D1-1	1820		4
	D1-2	340		10
	D1-3		1760	1
D2	D2-1	1820		4
	D2-2	340		10
	D2-3		1760	1
K1	K1-1		660	2
	K1-2		470	1
K2	K2-1		660	2
	K2-2		470	1
T1	T1-1	920		4
	T1-2	250		1
	T1-3	250		2
T2	T2-1	920		4
	T2-2	250		1
	T2-3	250		2

のれん・棚用

合計

コースレッドビス	L=75mm	約300本
	L=57mm	約150本

2mから切り出せる本数
余り

キャストー	
S付ゴム車2S-1R100	2輪
ゴム車SR-1R100	2輪

ボルト		
5/16 L=45	16本	※キャスター固定
5/16 L=65	16本	※土台・壁固定
5/16 L=100	4本	※車台固定用
ワッシャー	72個	

最終本数

総計

30 × 30						
1820	1440	920	600	530	340	250
2						
	2					
			6			
				2		
2						
	1					
					6	
2						
	1					
					6	
4						
		8				
			4			
4						
		8				
			4			
4						
					10	
4						
					10	
		4				
						1
		4				
						1
2						
24	4	24	14	2	32	2

1	1	2	3	3	5	8
180	560	160	200	410	300	0

30 × 120					
1760	660	600	470	340	250
		7			
				9	
				9	
		4			
		4			
1					
1					
	2				
			1		
	2				
			1		
					2
					2
6					
8	4	15	2	18	4

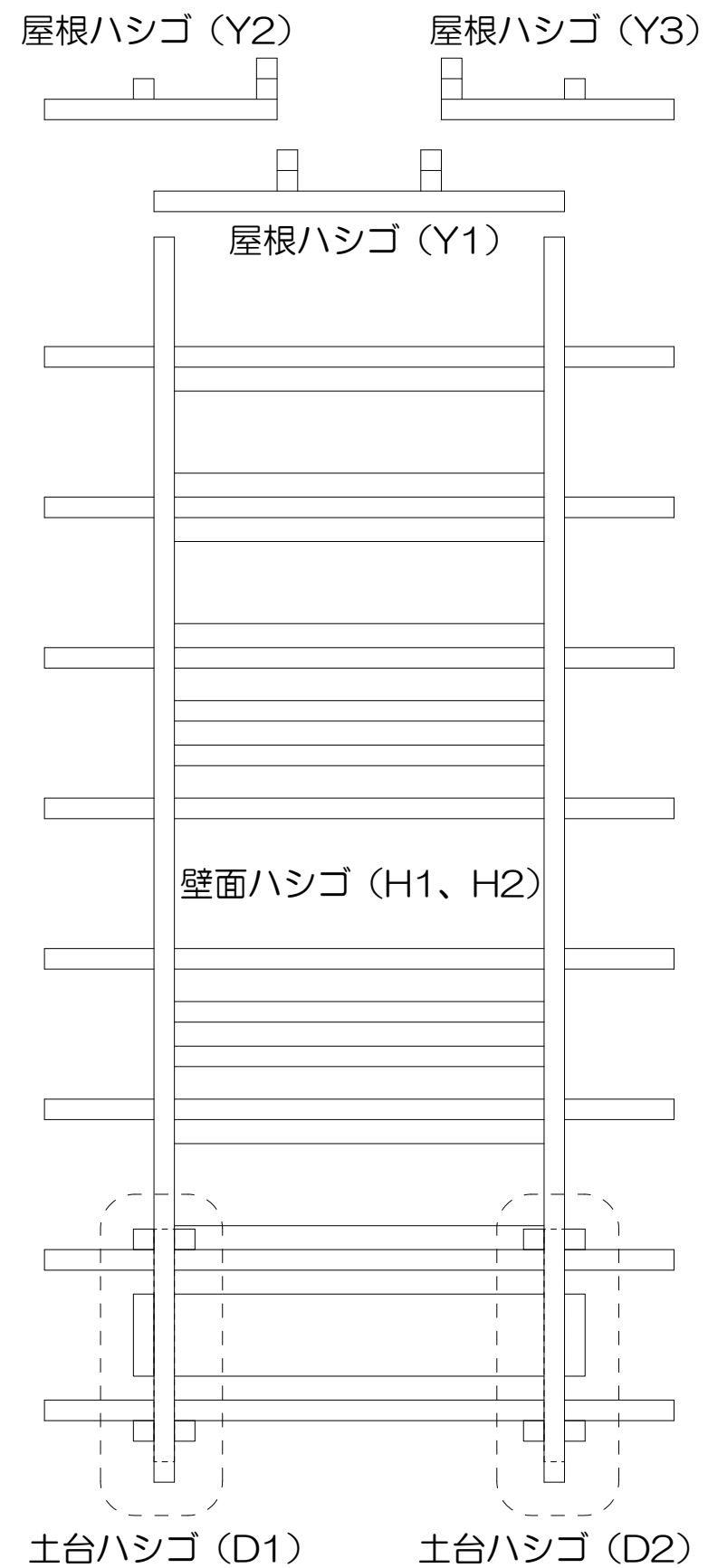
棚用

1	3	3	4	5	8
240	20	200	120	300	0

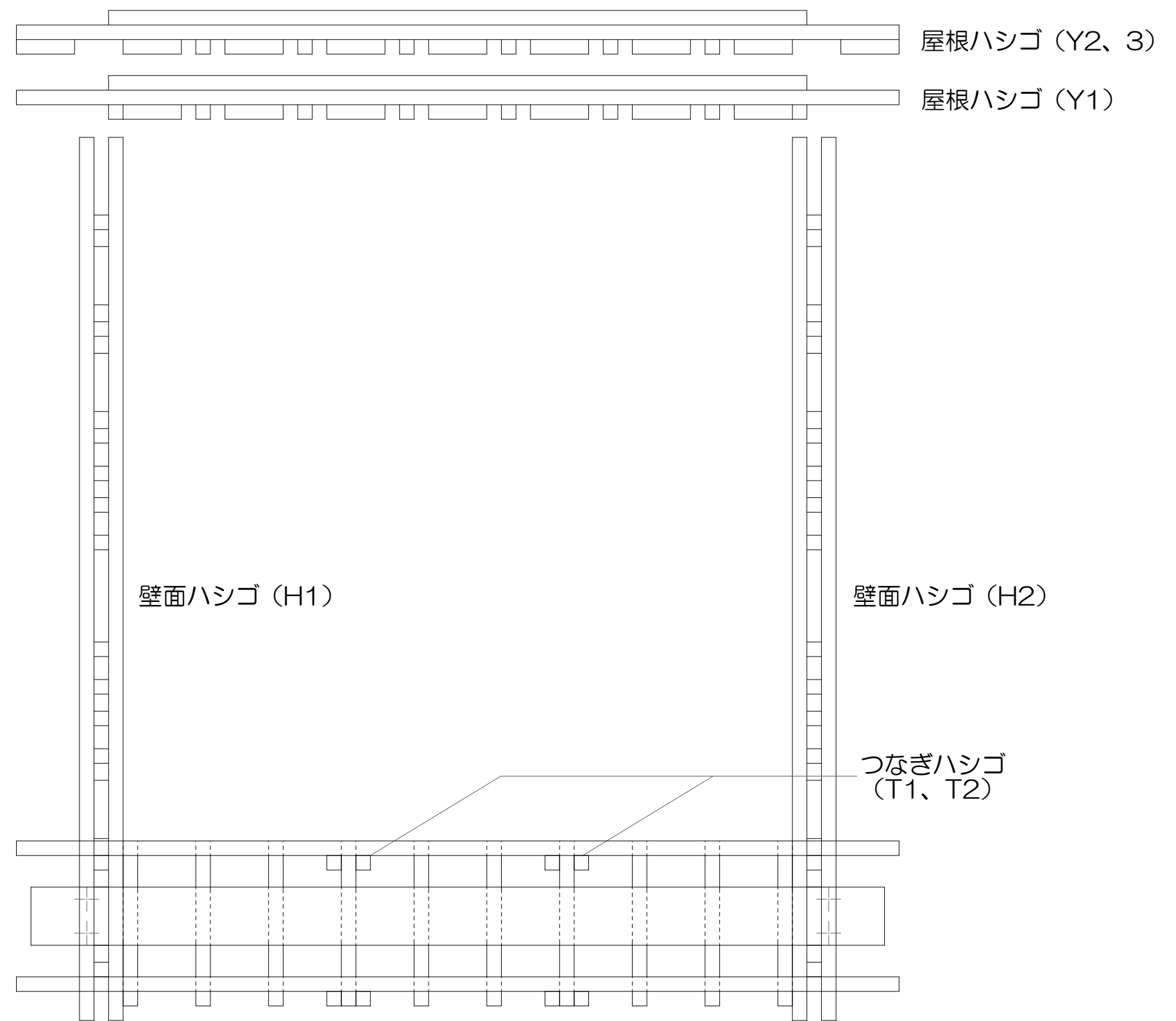
24	4	12	5	0	6	0	8	2	5	0	4	0
				※1440余りを 2本利用	※1440余りを 2本利用	※600余りを 1本利用				※340余りを 利用		※660余りを 利用
						予備						
				30 × 30 × 2000=		51	+1			30 × 120 × 2000=		19

予備
+1

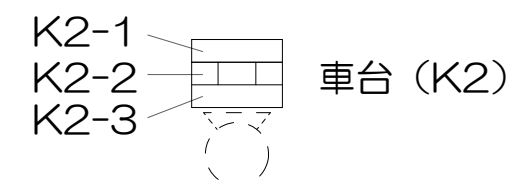
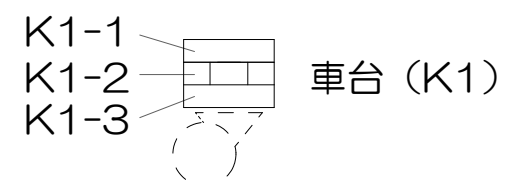
美山木匠塾2013



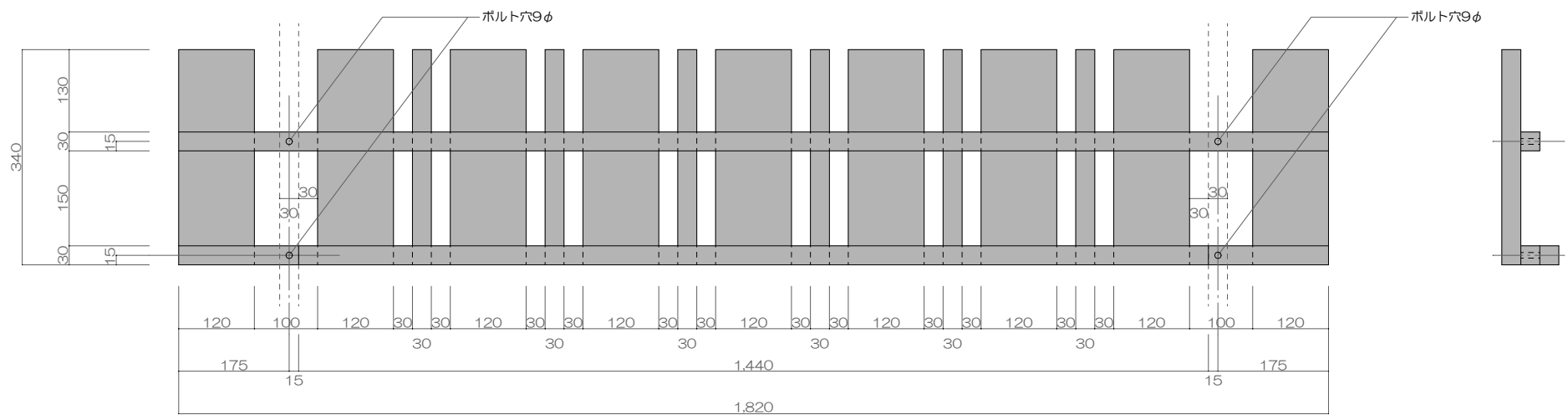
正面図



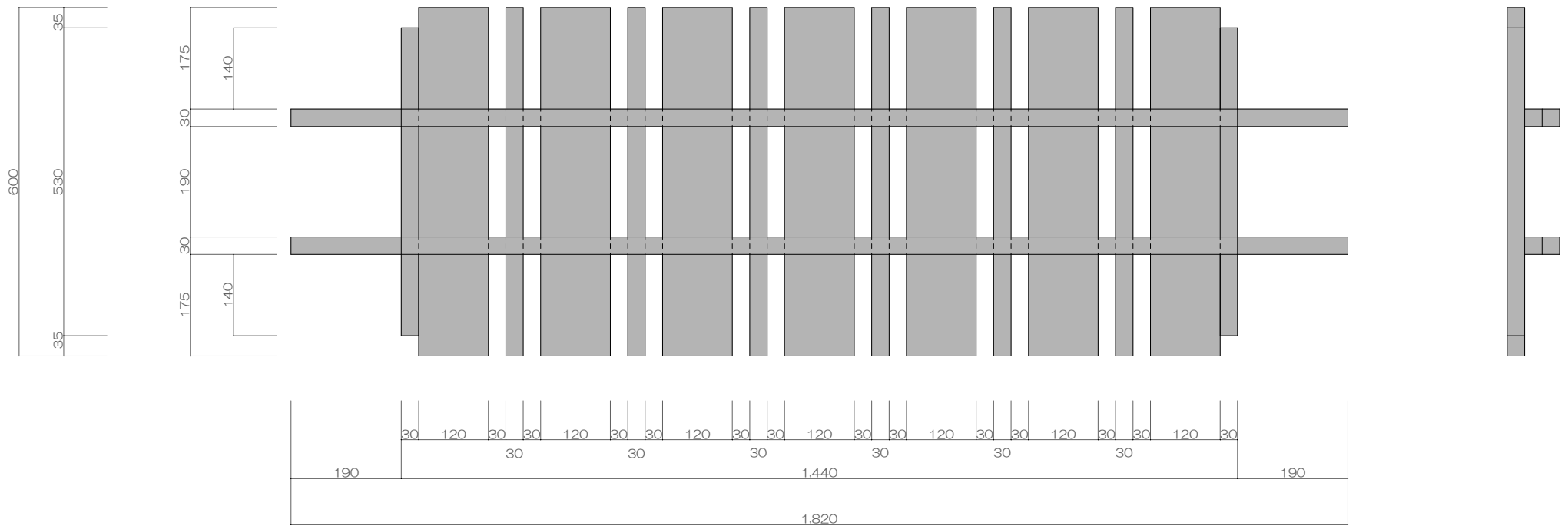
側面図



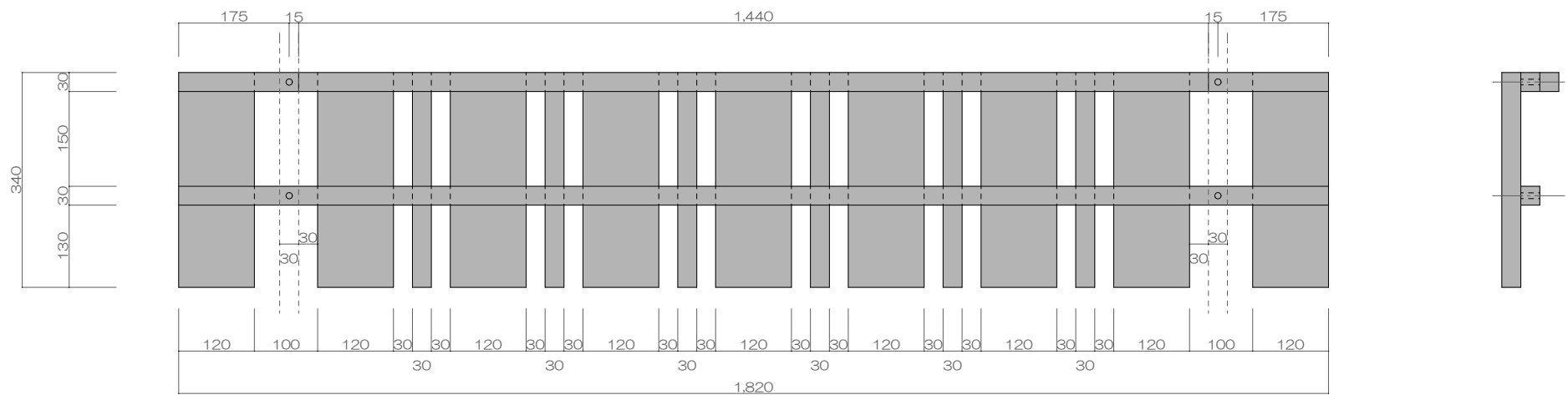
屋根ハシゴ (Y2)



屋根ハシゴ (Y1)



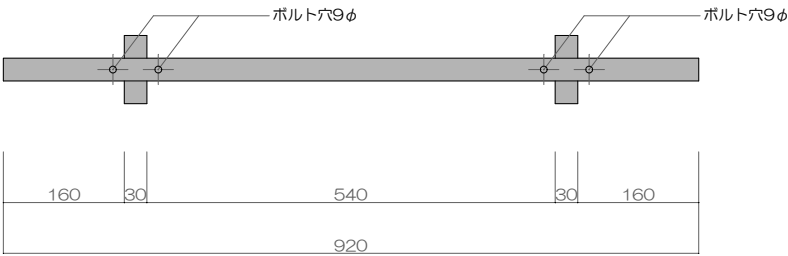
屋根ハシゴ (Y3)



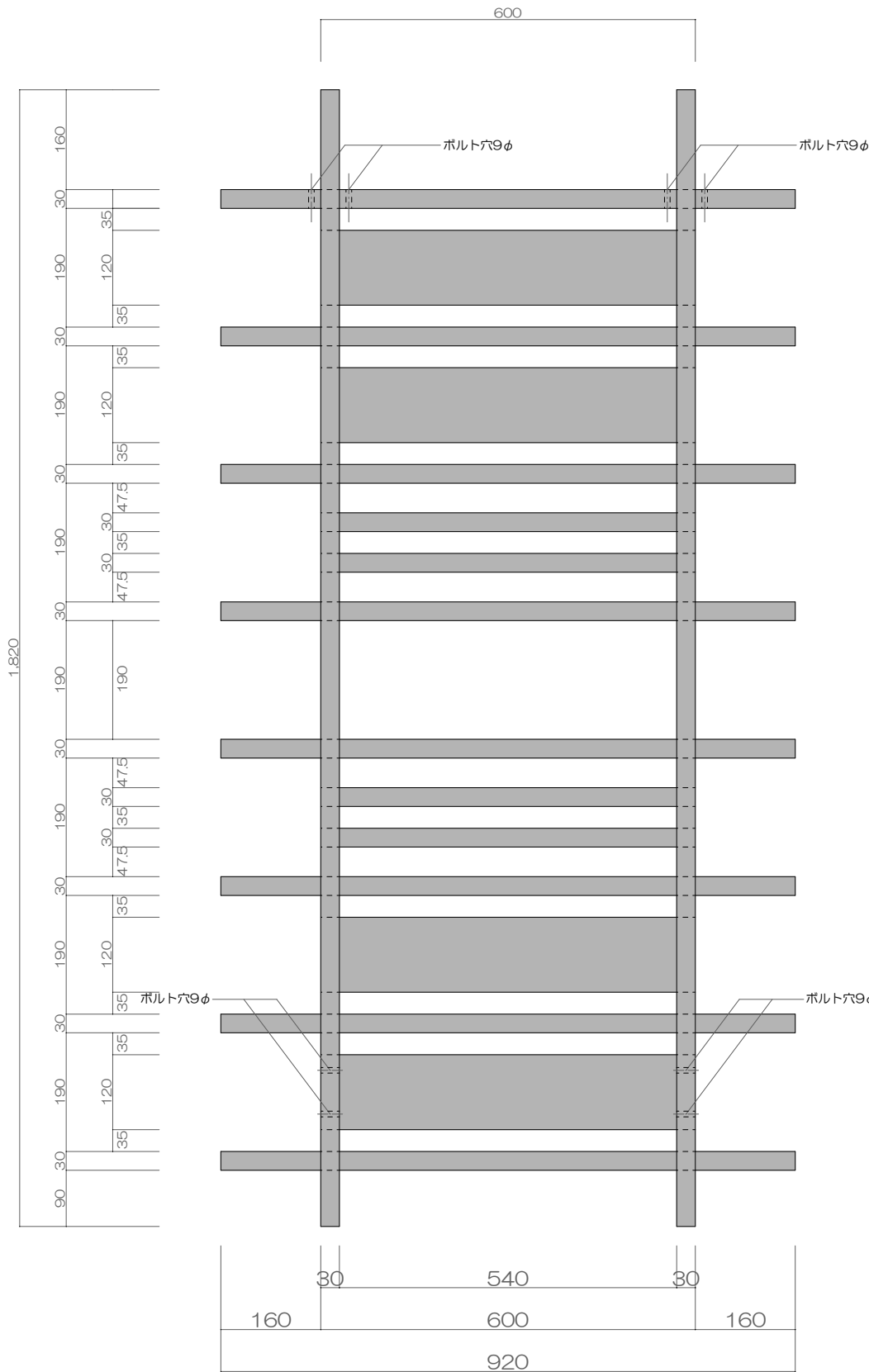
上面図

側面図

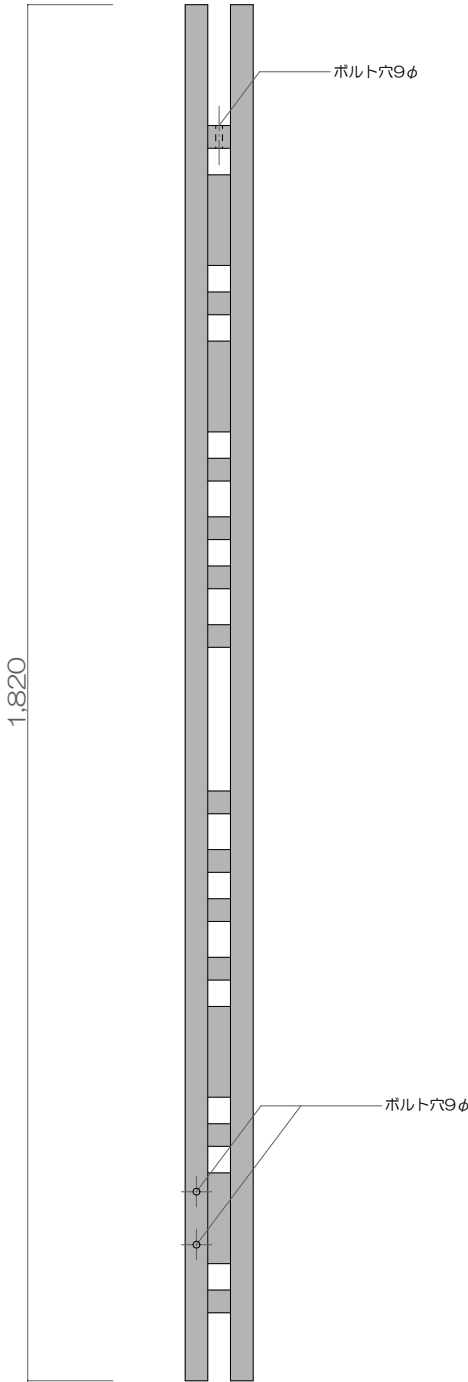
壁面ハシゴ（H1、H2） 上面図



正面図



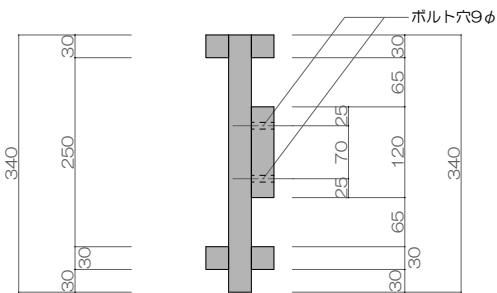
側面図



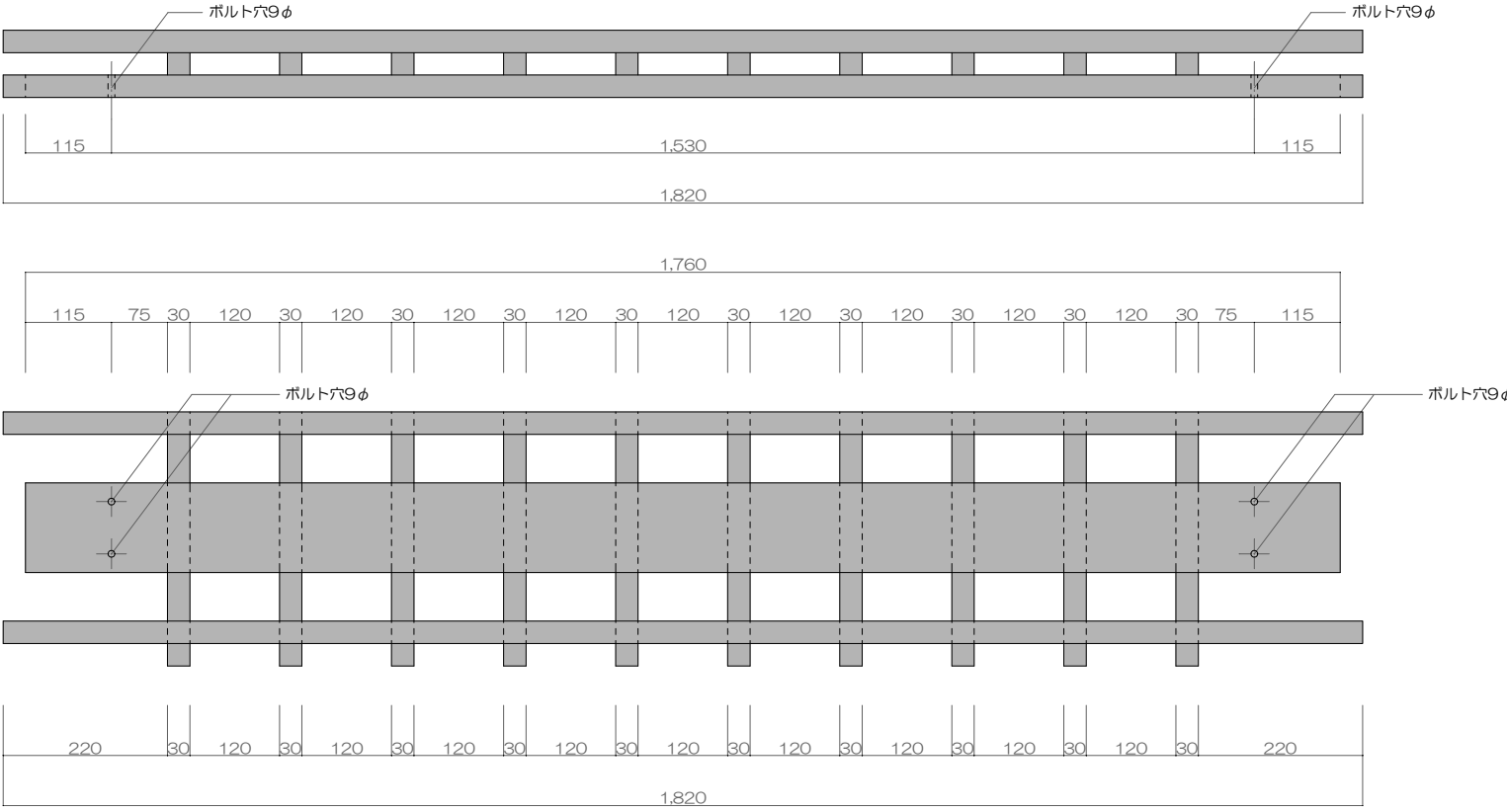
土台ハシゴ (D1、D2)

上面図

側面図

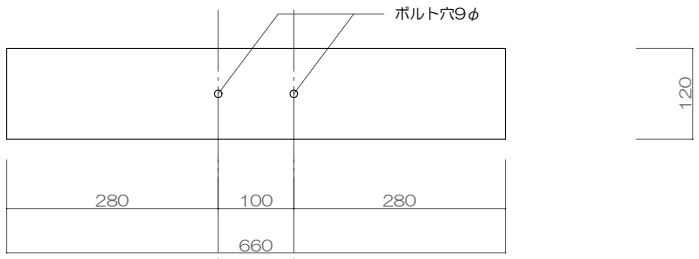


正面図

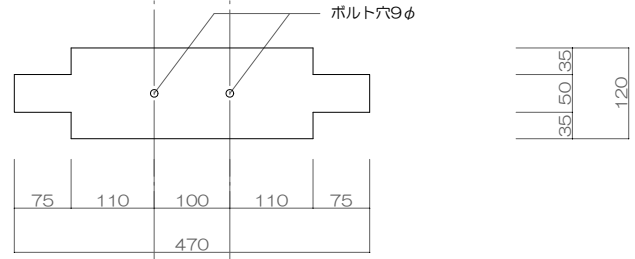


車台 (K1)

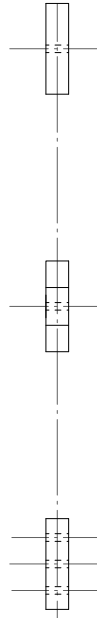
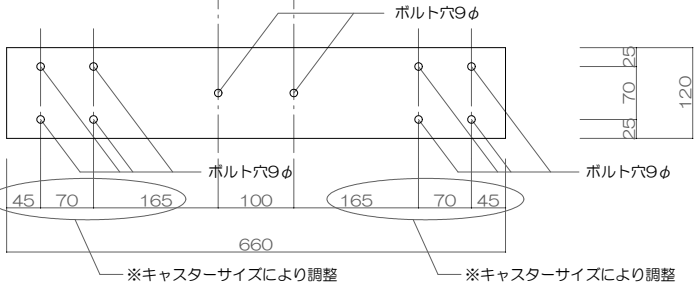
K1-1



K1-2



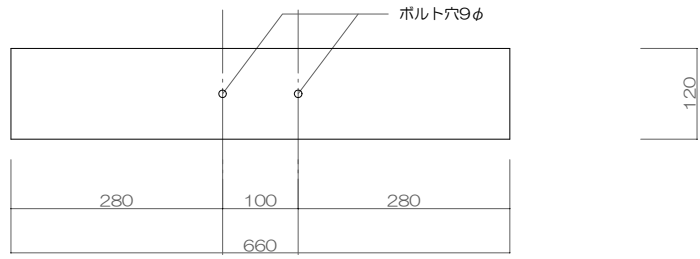
K1-3



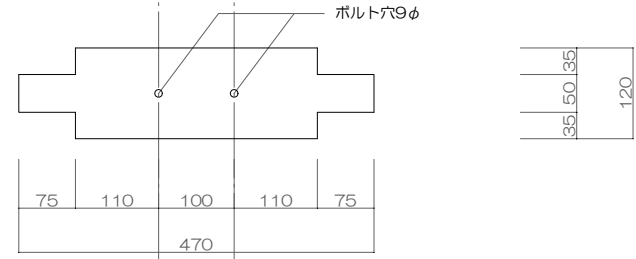
側面図

車台 (K2)

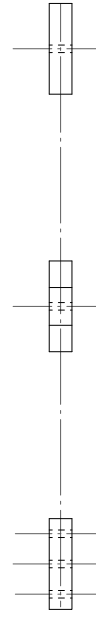
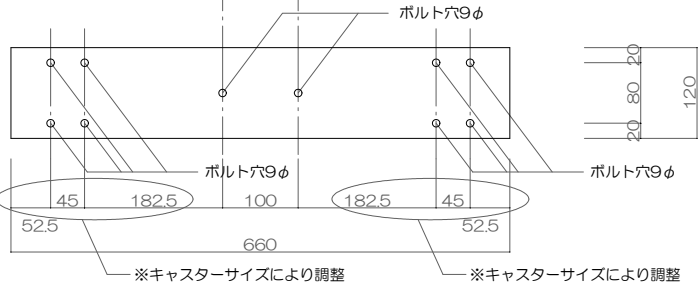
K2-1



K2-2



K2-3

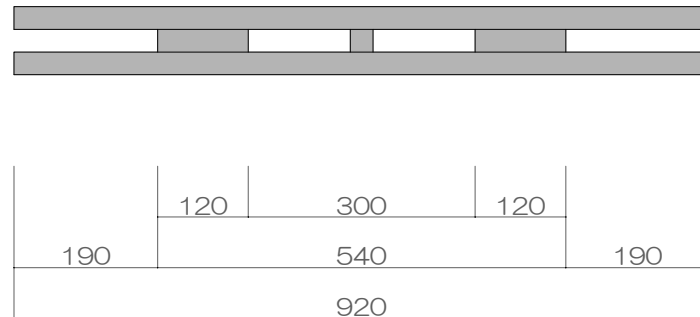


側面図

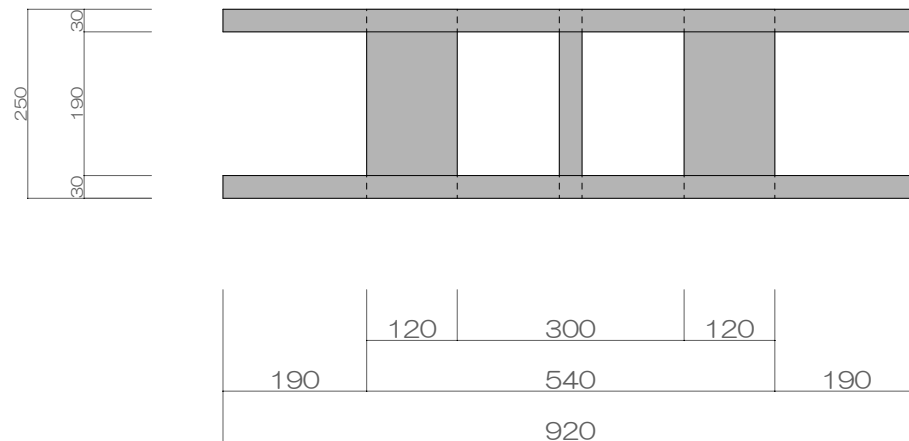
側面図

※座席オプション
つなぎハシゴ (T1、T2)

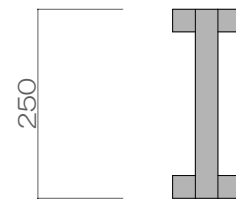
上面図



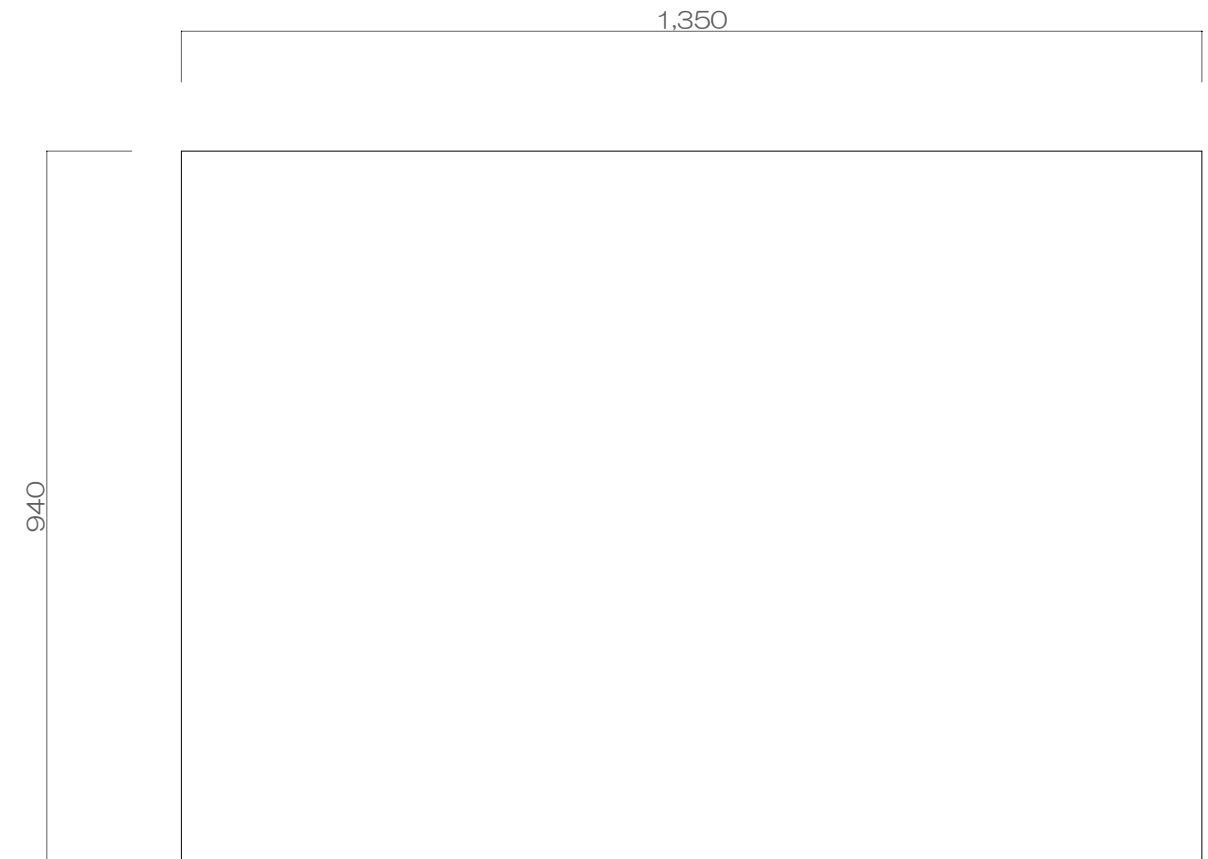
正面図



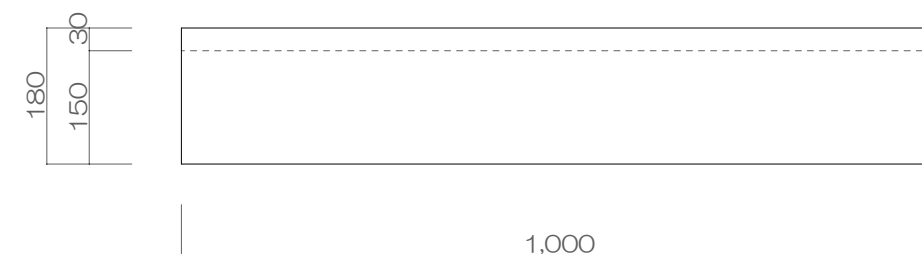
側面図



※メンブレン・オプション
屋根布



のれん



製作・組立順序

- ① 土台ハシゴ (D1、D2)
- ② つなぎハシゴ (T1、T2)
- ③ 車台 (K1、K2)
- ④ 屋根ハシゴ (Y1)
- ⑤ 壁面ハシゴ (H1、H2)
- ⑥ 屋根ハシゴ (Y3)